

※詳しくは☎にお問い合わせください。

農業の効率化と一緒に
考えてみませんか

先端技術を活用して農業の効率化や省力化を目指す「スマート農業」。荒尾らしいスマート農業を考えるための研究会の参加者を募集します。

- 対象 市内の農業従事者
- 内容 意見交換や実証実験
- 申込締切 12月25日(金)
- 申込方法 申込用紙に必要事項を記入の上、持参、郵送、FAX・メールで提出
- 参加費 無料
- ☎農林水産課 63・1443 FAX 63・1158

熊本県最低賃金が
改定されました

熊本県最低賃金
時間額793円

(令和2年10月1日から)

この最低賃金は、県内すべての事業所、労働者に適用されます。

☎熊本労働局労働基準部賃金室 096・355・3202
【中小企業の最低賃金引上げを支援する業務改善助成金】事業場内最低賃金を一定額以上引上げ、生産性向上のための設備投資などを行う

た場合、その費用の一部が助成されます。対象事業場は、地域別最低賃金(793円)と事業場内最低賃金(の差額が30円以内で規模が百人以下の事業場です。事業場内の最低賃金が850円未満の事業場の場合、助成率は5分の4、850円を超える事業場は4分の3です。

生産性要件※を満たした場合、10分の9(850円未満)、5分の4(850円以上)。引き上げる労働者数により助成額も異なります。※企業の決算書類から算出した、労働者1人当たりの付加価値

☎熊本労働局雇用環境・均等室 096・352・3865
【働き方改革推進支援センターのご案内】

就職規則の作成方法、賃金規定の見直し、労働関係助成金の活用など「働き方改革」に関連するさまざまな相談に総合的に対応し、支援しています。「業務改善助成金」への各種問い合わせにも対応しています。

☎熊本働き方改革推進支援センター(熊本市中央区細工町4丁目30・1) 0120・04・1124

荒尾市長選立候補予定者
事務説明会を開催

1月24日(日)執行、1月17日(日)告示の荒尾市長選挙に伴う立候補予定者事務説明会を左記のとおり開催します。説明会では、立候補のための資料を差し上げますので、出席する人の印鑑をご持参ください。

- 日時 12月22日(火) 午後2時～
- 場所 市役所11号会議室
- ☎選挙管理委員会事務局 63・1254

あらかじり就職相談会

働くことや将来に少しでも悩んだら、気軽に☎ご相談を！
●日時 12月17日(木) 午後1時30分～4時
●会場 市役所 別館環境保全課2階51号会議室(地域職業相談室隣)
●対象 感染症による内定取り消しや今後の就職が不安な人など、年齢問わず誰でも※家族だけの相談も受け付けています。
●相談料 無料(予約不要)
☎たまな若者サポートステーション 74・0007

窓あき封筒に有料広告を掲載しませんか

市の事務で使う窓あき封筒に有料広告を掲載する事業者などを募集します。

- 封筒の種類と枚数
- ①共通用窓あき封筒 (11・8cm×22・3cm) 10万7千枚
- ②納税(入)通知書送付用封筒 (12cm×20cm) 4万9,300枚
- 広告掲載場所と掲載枚数
- どちらの封筒裏面に2枚ずつ
- 広告サイズ
- ①縦7cm×横10cm
- ②縦7cm×横8・5cm
- ※サイズは変わる場合があります。

●使用期限

令和3年4月から1年間

●広告掲載料

1枠当たり1円(税込)に募集枚数を乗じた額

●申込締切

12月11日(金) 午後5時15分

※募集要領や様式などは市ホームページからダウンロードできます。

☎文化企画課情報推進室 63・1294

無戸籍で困っている人はご相談ください

何らかの事情で、出生の届出がされておらず、戸籍に記載されていない「無戸籍」の人たちの相談を受け

付けています。戸籍がないと身分を証明することができないため、各種行政サービスを受けられないなど社会生活に支障をきたすことがあります。ひとりで悩まず、法務局や市の戸籍担当窓口にご相談してください。

無戸籍で困っている人をご存知の人も相談してください。無戸籍を解消するために、どのような手続きができるか一緒に考えませんか(相談無料・秘密厳守)。

☎熊本本地方務局玉名支局 72・2347

☎市民課記録係 63・1326

ジンちゃん・ケンちゃんと考える
人権のいろいろ

第3回「部落差別ってなに？」



学校の靴箱に「部落差別解消推進法」のポスターが貼ってあったばってん知ってる？



「部落差別」は人権学習で習ったばい。生まれた所や住んでる場所で、その人や地域の価値ば決めつけること。今でもそんなことで人の価値ば決める人がおるげな。先生は「差別は差別する側の問題」って言いよんかったよ。



そうね。ケンちゃん前に「住む所を自由に決めるのも人権」って言いよったもんね。そぎゃんかことで差別するとか恥ずかし。うちのお父さんは「人間は中身が大事」ていつも言いよらすばい。



ジンちゃんのお父さん、かっこよかね。うちはなんて言わすやろか。

☎人権啓発推進室 62-1313

地域おこし協力隊 活動便り Vol.51

荒尾市地域おこし協力隊員は、最長3年の任期のもと、荒尾の魅力を知り、伝え広げる活動を日々行っています。

隊員の主な活動内容や活動予定をお届けします。



荒尾の魅力、荒尾の情報をFacebook、Instagramで発信中



荒尾市地域おこし協力隊 Facebook



荒尾市地域おこし協力隊 Instagram



▲稲刈り前(奥)と後(手前)の田んぼの様子

◆堀根信隊員(令和元年8月着任/農業振興担当)

10月は稲刈りシーズンで、米農家さんは一年でも特に忙しい時期でした。稲刈りを行う時間帯は朝露が乾ききった午前10時以降に行います。水分が多い状態で稲刈りを行うと、その後の乾燥のとき、余計に時間がかかってしまったり、コンバインが故障する原因になってしまいます。稲刈りを終わると稲から粒を分離する「脱穀」を行い、その後水分が約15%になるまで乾燥させます。乾燥を終わると、籾から籾殻を取り除いて玄米にする「籾摺り」、玄米からぬかを取り除く「精米」を経て、私たちがいつも口にしている白米になります。